

『移動式クレーン運転士学科試験 令5年版』 に関するお詫びと訂正のご案内

『移動式クレーン運転士学科試験 令和5年版』の内容について誤りがありましたことを、心よりお詫び申し上げます。以下の通り訂正致しますので、お手持ちの本書に加筆訂正をお願い致します。

ご迷惑をおかけ致しまして誠に申し訳ございません。

よろしくようお願い申し上げます。

初 版

P.160 【問30】解説	誤	B 免許に係る業務に現に就いている者は、免許証を滅失したときは、免許証の再交付を受けなければならない。ただし、当該免許証の写し及び事業者による当該免許証の所持を証明する書面を携帯するときは、この限りでない。
	正	B 免許に係る業務に現に就いている者は、免許証を滅失したときは、免許証の再交付を受けなければならない。 ただし、当該免許証の写し及び事業者による当該免許証の所持を証明する書面を携帯するときは、この限りでない。 免許証の写しや免許証以外の書面等の携帯は認められない。
P.183 【問3】解説	誤	(4) 平均接地圧 (kPa 又は kN/m) は、一般に、全装備質量 (t) に 9.8 (m/s ²) を掛けた数値を、左右のクローラベルトの総面積 (m ²) で割ったもので表される。
	正	(4) 平均接地圧 (kPa 又は kN/m ²) は、一般に、全装備質量 (t) に 9.8 (m/s ²) を掛けた数値を、左右のクローラベルトの 接地する総面積 (総面積 ×) (m ²) で割ったもので表される。
P.271 【問35】解説	誤	▪ 公式に当てはめて考える。 距離：円の直径×π = (19m×2) × 3.14 = 119.32m 時間：2 min (分) = 2 × 60s (秒) = 120s (秒) 速さ = $\frac{\text{距離}}{\text{時間}} = \frac{113.32}{120} = 0.994333\dots \div \underline{1.0\text{m/s}}$
	正	▪ 公式に当てはめて考える。 距離：円の直径×π = (19m×2) × 3.14 = 119.32m 時間：2 min (分) = 2 × 60s (秒) = 120s (秒) 速さ = $\frac{\text{距離}}{\text{時間}} = \frac{119.32}{120} = 0.994333\dots \div \underline{1.0\text{m/s}}$